

喜多 孝介 氏(代読)

僕が通勤寮に入ったきっかけは、いたってシンプルですが、自立をしたいと思ったからです。

そのために、寮では金銭管理や清掃、バランスの良い食事などの改善に取り組んでいます。しかしながら、一日一回必ず野菜は摂っているものの、メインはほとんど麺類や肉料理ばかりです。あくまでも休日や社食などを自由に食べられる時に限ります。

金銭管理に関しても、賞与が出た時や夏休み、冬休みなどの長い休みに入った時は遊ぶことにしかお金を使っていません。この前も楽天市場で会員ランク昇格の為に、カードで買い物をし過ぎてしまいました。それをなくせるように改善していきます。

食事に関しては、週に一回は必ず魚を食べたり、朝食は味噌汁と野菜ジュースを飲み、毎日野菜を摂ることを意識しています。

金銭管理の面では、欲しい物があつたり、お金が必要な時は、必ず寮のスタッフに相談する、目標貯金額を明確にすることを意識しています。

仕事に関しては、申請書のチェック、社内便などの事務補助、障害者が働く清掃会社の補助を行っています。他の人と比べてしまいましたが、僕の周りは自分自身の考えを上司に提案したり、他部署の方やお客様と関わったり、周りの人は少しずつ成長して行っています。

それに対し、自分は言われたとおりにしか仕事ができず、難しいことから逃げたり、コミュニケーション能力も自分だけの考えも何一つありません。もし仮に、このことがYouTube上に流れていたら、「社会をなめるな!」「言われたことしか出来ないの?」「学ぶ意欲が無い」といった、僕にはインプットできない長々としたコメントが流れてくると思います。

このように、普通の人からしたら当たり前なのが僕にはできません。何か新しいことにチャレンジしても、たくさんのジャンルがあるので、学ぶ必要のないものはどんどん忘れていってしまいます。上しか見ていない完璧主義な一面があることが原因かもしれません。

なので将来は、とにかく楽しめるような人生を送りたいです。たとえ、周りに評価を決められることはあっても、自分の心の中まで他人に決められることは無いので、失敗しても勇気を持って行動した自分のことだけは評価したいです。これは、他人に対して「僕は行動力があるんだ。すごいだろ!」と言うのではなく、自分の心の中で評価するということです。

とはいえ、人生は甘くないです。一人暮らしとなると、誰にも何も言われなから、自由があります。しかし、デメリットとして挙げられるのは、家事、金銭管理、料理、勉強などは一人でやることになる。つまり、責任は自分自身にあるということです。

最後になりますが、たとえ何があっても自分の人生をとことん楽しみたいと思っています。